

一般質問…ここが論点

詳しい質問項目と動画はこちらから



3月市議会定例会中、3人の議員が会派を代表して質問し、14人の議員が個人質問を行いました。その中から要約を掲載します。詳しい内容は市立図書館等で会議録をご覧ください。ホームページの会議録検索システムをご覧ください。いずれも6月上旬に発行・掲載予定です。

日程	議員名	主な質問の項目 ※下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています。
3月3日(火)	自由民主党蒲郡市議団・無所属の会代表 青山 義明	<u>財政運営</u> <u>イネープリングシティ</u> <u>地震予知</u> <u>災害ボランティアセンター</u> 特別支援学校 <u>東港地区開発推進事業</u> <u>新たな最終処分場</u> <u>サーキュラーシティ</u>
	蒲郡市政クラブ代表 来本 健作	<u>予算大綱</u>
	公明党蒲郡市議団代表 太田 哲也	<u>予算大綱</u>
	中野 香余	<u>中学校部活動の地域展開</u>
	大須賀 林	<u>林野火災</u> <u>湯水時における防火、消防活動の取組</u> <u>地域における防火対策</u>
3月4日(水)	伊藤 享佑	<u>京都大学との共同研究</u> <u>災害関連死防止策</u> 事前防災に資するインフラ整備と財源の確保
	鈴木 基夫	子どもの課題を「生物・心理・社会」の三側面から総合的に理解するBPSモデルを基盤とした子ども政策の体系化 <u>蒲郡版クアオルト</u> 災害時などの危機管理への対応
	八田 寿人	<u>小中学校のタブレット更新</u> <u>選挙（投票所、投票率）</u>
	芦刈 純奈	<u>ひとり親家庭の現状とその支援</u> <u>外国人児童生徒とその保護者への支援</u>
	日恵野 佳代	<u>市民の暮らしを支える幅広い支援</u> <u>竹谷町における土砂災害の原因究明</u> 公共施設の統廃合・複合化計画の見直し 自衛隊による蒲郡港の特定利用港湾指定および自衛艦入港
3月5日(木)	竹内 滋泰	<u>人口減少を見据えた持続可能な地域づくりと定住促進策</u> <u>妊娠・出産・育児の切れ目ない支援体制の構築と育休取得促進策（育休カバー手当）の導入</u>
	松本 昌成	<u>自転車交通違反への安全対策</u> <u>ヤングケアラー支援</u> <u>トモイクシートの活用</u>
	鈴木 貴晶	<u>学校におけるカスタマーハラスメントの対応</u> <u>サーキュラーシティ・ゼロカーボンシティ蒲郡における食品ロスの取組状況</u> 中日ドラゴンズ2軍本拠地の誘致
	千賀 充能	<u>公共交通</u> <u>住宅・建築物の土砂災害対策に関する補助制度の導入</u>
	牧野 泰広	<u>サーキュラーシティの未来</u> <u>観光のまちづくり</u>
	尾崎 広道	<u>24時間換気システムを活用した感染症対策</u> <u>防災会議での疑問</u> <u>魚市場仲買人</u>
鈴木 将浩	<u>広報がまごおり・回覧板</u> <u>デジタル給付</u>	

問 同センター設置訓練の実施状況を伺う。
答 3年度から毎年1回、勤労福祉会館にて

災害ボランティアセンターについて

答 市民の実感を大切にしながら、引き続き分かりやすく説明し周知に努めたい。

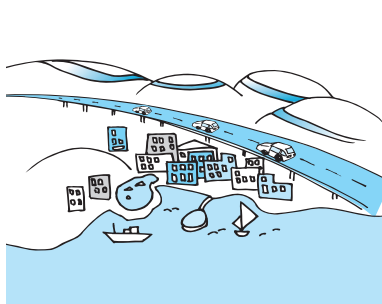
問 イネープリングシティという言葉が市民に浸透していないのではないかと。
答 市民の実感を大切にしながら、引き続き分かりやすく説明し周知に努めたい。

イネープリングシティについて

問 将来負担比率・実質公債費比率の見直しについて伺う。
答 令和6年度決算では、いずれも早期健全化基準値内であり、直ちに問題になる状況ではないと考えている。

財政運営について

問 観光客が楽しめる仕掛けについて伺う。
答 マルシェイベントや、今後行われる市民や民間の活動を観光客が体験し、地域の人と交流することを考えている。



問 4年間の継続費90億円の内訳を伺う。
答 埋立地部分の建設工事費が約37億円、浸出水処理施設の建設工事費が約50億円、施工監理業務委託料が約3億円である。

新たな最終処分場について

訓練を行っている。

東港地区開発推進事業について

訓練を行っている。

訓練を行っている。